

子育て期女性の

就労と家事の相互健康影響:

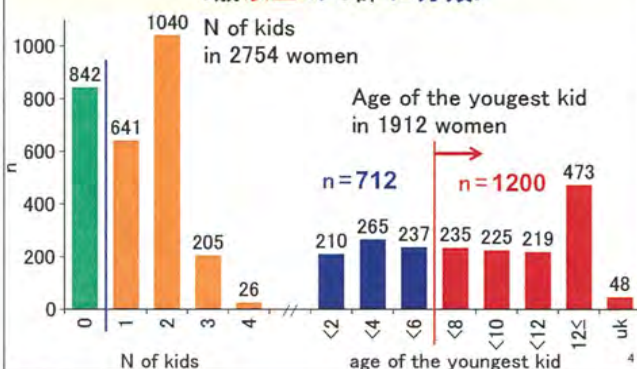
baseline data 6 - 有配偶者の頭痛

永谷 照男 (Teruo NAGAYA)

名古屋市立大学
大学院医学研究科 公衆衛生学

第75回日本公衆衛生学会 (2016.10.27, 大阪)

子育て 子の数は0~4人、平均 1.25人。
⇒ 子育てなし、末子年齢が6歳未満、
6歳以上の3群に分類。



目的

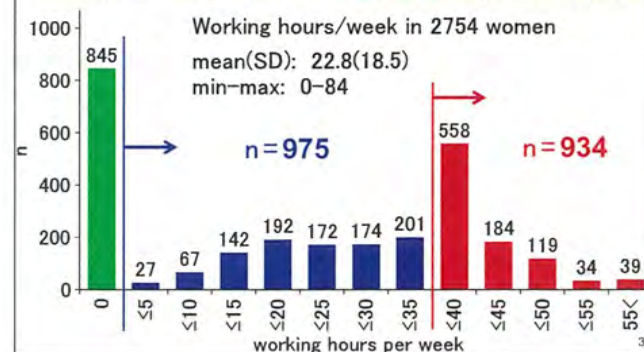
最終目的は、子育て期女性を対象に、
就労と家事の負担が与える健康影響の評価。

今回は、baseline data から有配偶者を対象に、
就労や子育てと日常的な自覚症状である
頭痛との関連を示す。

対象者

同意を得た 健診受診女性 5,737名 のうち、
25~49歳の有配偶者から、重複者、退職者、
妊娠中、学生を除き、今回の調査項目に欠損
のない 2,754名、平均年齢(sd) = 39.7(5.0) 歳

就労時間 一週の就労日数と一日の就労時間
から一週就労時間を算出。⇒ 無職、週就労
時間が 35時間以下、35時間超の3群に分類。



就労時間と子育て、各3群のnと平均年齢

就労時間	子育て / 末子年齢			計
	なし	<6歳	6≤歳	
無職	136	355	354	845
	38.6	37.2	42.2	39.5
≤35 h/w (22.9)*	199	214	562	975
	39.0	37.1	42.8	40.7
35< h/w (43.3)*	507	143	284	934
	37.2	37.0	42.6	38.8
計	842	712	1200	2754
	37.9	37.1	42.6	39.7

(*) : 平均就労時間

頭痛の有無

問診票の自覚症状一覧から、「頭痛」を選択
(yes/no)した者を「頭痛あり」とした。
「頭痛あり」は、213名(7.7%)

* 頭痛の特性(強さ、頻度、持続、前兆など)
は考慮していない。

統計処理

Multivariate logistic regression analysis で
次頁の全交絡因子を補正した「頭痛あり」の
odds ratio (OR) を算出し、就労や子育てと
「頭痛」との関連を検討した。

交絡因子 6項目 (すべて群変数で logistic
regression analysis に使用)

1. 年齢 5群: 5歳間隔
2. BMI 4群: 4分位、mean(sd) = 20.7(2.9) kg/m²
3. 治療中疾病 2群: なし/あり, n = 2057/697
4. 飲酒 3群: 週アルコール量 0/≤25/25< g/w
n = 1441/605/708
5. 喫煙 3群: 非/既/現, n = 2227/327/200
6. 運動 3群: 週運動時間 0/≤100/100< min/w
n = 1785/545/424

結果A 就労時間および子育ての3群別 adjusted OR (95% CI) for 'headache'

	n	prevalence n (%)	adjusted OR (95% CI) #
working hours/week			
none	845	64 (7.6)	1.00 (reference)
≤35	975	71 (7.3)	0.93 (0.65, 1.34)
35<	934	78 (8.4)	1.02 (0.72, 1.46)
p for trend			0.890
age of the youngest kid			
no kids	842	66 (7.8)	1.00 (reference)
<6 years	712	51 (7.2)	0.89 (0.60, 1.32)
6≤ years	1200	96 (8.0)	1.15 (0.80, 1.67)
p for trend			0.486

#: adjusted for age, BMI, drinking, smoking,
exercise and present disease

結果B 就労時間×子育ての9群別 adjusted OR (95% CI) for 'headache'

working hours/week	age of the youngest kid		
	no kids	<6 years	6≤ years
none	1.00 (reference)	0.88 (0.41, 1.99)	1.14 (0.55, 2.57)
≤35	0.63 (0.25, 1.59)	0.86 (0.38, 2.05)	1.10 (0.55, 2.41)
35<	1.08 (0.54, 2.34)	0.80 (0.31, 2.04)	1.02 (0.47, 2.35)
p for interaction = 0.725			

#: adjusted for age, BMI, drinking, smoking, exercise
and present disease

まとめ

就労時間 3群、子育て 3群は両者とも
「頭痛あり」と関連がなかった。

また、3×3=9群でも 就労時間 や 子育て は
「頭痛あり」と関連がなく、両者の「頭痛あり」
に対する交互作用もなかった。

今後、対象者を追跡し、女性の 就労 や 家庭
要因 が自覚症状だけでなく、生活習慣 や 健康
指標に与える中期的影響を示す。

* 今後も研究経過を下記 HP に順次開示する。
<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kouei.dir/moku%20sinkou.html>

この研究は、

名古屋市立大学 大学院医学研究科 倫理審査
委員会の承認を得ている (No. 359-4)。

三菱財団、日本健康増進財団、ヘルス・サイエンス
センター、愛知健康増進財団の助成金と
文科省・科学研究費 (23590805, 26460750) を用い、

国際セントラルクリニック (名古屋市中村区、理事長: 内藤靖夫、
事務長: 近藤康明) の多くの受診者と職員の協力で実施している。

COI: none.